

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

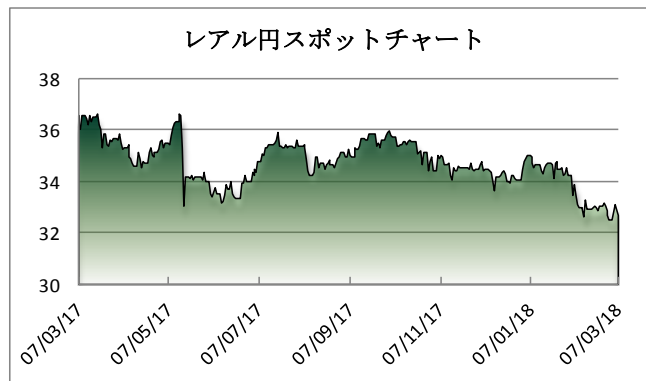
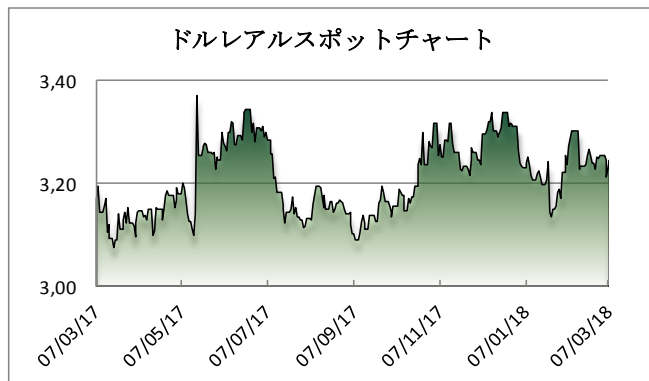
昨日のドルレアルスポット相場は、軟調な商品市況や保護主義台頭の懸念からレアル売りが優勢となり、一時3.24台後半までレアル安が進行。商品市況については、中国が本日、2月貿易統計を公表しており、輸出がドルベースで前年比44.5%増と急増を示す一方、輸入が6.3%増と鈍化したため、コモディティに連動しやすい通貨にはややネガティブな結果となった。また、格付会社Moody'sが経常赤字の拡大と外部ショックへのリスク上昇を要因に、トルコを「Ba1」から「Ba2」へ格下げしたことも、新興国通貨のセンチメント悪化につながっている。トランプ大統領が公表した鉄鋼・アルミニウム輸入への高率関税導入について、サンダース報道官は、「国家安全保障上の判断に基づき、関税の適用を除外する国があるかもしれない」と発言。ムニューシン財務長官も、「ホワイトハウスが関税賦課案の適用免除を検討している」と明らかにした。その後、米国家通商会議のナバロ委員長は、「カナダとメキシコが米国の要求を満たす新たなNAFTA合意に調印すれば、両国からの輸入は関税の対象外となる」と述べている（ブラジルは現状、免除対象とはならない見込み）。

NYを訪問しているMeirelles財務相は昨日、記者団に対して、「燃料税の制度を変更することが可能か、検討している」と発言。現在の制度は、価格そのものに税率を賦課しているため、価格自体が下がれば税収も比例して下がってしまう。そのため、「そのような影響を避ける制度への変更を模索している」と述べた。

マーケットデータ

Indicator		Unit	3月6日	3月7日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,2110	3,2437	1,02%	-0,84%	3,1210	3,3182
	対円	JPY	33,05	32,68	-1,12%	-2,22%	35,13	32,25
	対ユーロ	BRL	3,9831	4,0262	1,08%	0,23%	3,8531	4,0785
円	対ドル	JPY	106,13	106,07	-0,06%	-2,98%	105,25	113,39
	対ユーロ	JPY	131,64	131,64	0,00%	-1,83%	129,35	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	85.653	85.484	-0,20%	3,28%	88.318	76.403
CDS Brazil 5yrs		bps	150,20	152,02	1,21%	0,11%	188,62	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	9,49	9,54	0,53%	-2,25%	10,07	9,47
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,46	6,45	-0,15%	-5,22%	6,94	6,44
3 Months US Dollar Libor		%	2,0473	2,0473	0,00%	13,75%	2,0473	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	196,76	194,44	-1,18%	1,09%	201,19	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。